

<b>タイトル</b> (活動内容)	<b>60 証明しよう</b> (みんなで解決法を考える)	<b>アプローチ</b> (関連する力)	「仲間づくり」⑬ 「集団づくり」⑰ ⑱		
<b>タイミング</b> (実施時期)	学級内の人間関係ができてきた頃	<b>活動場所</b>	教室	<b>所要時間</b>	15分
論理的にものごとを解決する方法を話し合ってみよう					
<b>対象学年</b>	中1・ <b>中2</b> ・ <b>中3</b> ・高	<b>規模</b>	学級	<b>場面</b>	学活
<b>活動のねらい</b>	〈背景〉自分の思いだけが優先し、感情的になり、理論的に物事を考える力が希薄 ・感情的にならずに、事実を客観的に受け取り、理論的に解決する力を身につける ・解決方法をみんなで考え、客観性があることを確認し合う力を身につける				
<b>準備</b>	・数学教科書、ノート				
<b>学 習 活 動</b>		<b>支援の観点・留意点等</b>		<b>資料等</b>	
<b>1 導入</b> ・数学で学んだ論理的に物事を証明する方法で、日常の生活で起こったトラブルの解決方法をみんなで考える  <b>2 主活動</b> ○「掃除の時間に相撲をとっていたら教室のドアにぶつかりガラスが割れた」等の日常生活でのトラブルについての解決方法を、班で話し合う ・トラブルにおける問題点を明らかにする ・解決方法を客観的に考える ・解決方法と具体的取組をシートに書く  <b>3 ふり返り</b> ・各班ごとにシートを提示し、話し合った解決方法を発表し合う。		・物事を客観的にとらえ解決方法を論理的に考えるようにする  ・話し合う班は6～7人程度  ・物事の「問題」と「解決方法」を客観的にとらえ、具体的な解決方法を考え「結論」を導き出すための話し合いの筋道を示す		教科書、ノート	
<b>配慮事項</b>		・課題の「問題」と「解決方法」を客観的にみてはっきりさせることをポイントとする ＊ 実践例「ガラスが割れた」が解決しなければならないこと、「もとにもどす」が結論、そのためのやるべきことを見いだす為、トラブル後の、取組を客観的に話し合う解決方法の例は ①けが人の確認 ②ガラスの片づけ ③ 関係部署への謝罪と弁済が考えられる			